

# 平成 25 年度補正予算による継続課題に係る継続 評価書

研究機関 : 日本電信電話(株)、日本電気(株)、富士通(株)

研究開発課題 : 超高速・低消費電力光ネットワーク技術の研究開発  
課題Ⅱ 基幹ネットワーク高速大容量化・低消費電力化技術

研究開発期間 : 平成 24 ～ 26 年度

代表研究責任者 : 富澤 将人

■ 総合評価 : 適

(評価点 22点 / 25 点中)

## (総論)

引き続き研究開発を推進することが適当。

## (コメント)

- 計画通りに進捗しており、今後ともオープン・イノベーション方式ならではの国際競争力のあ  
る成果を期待する
- 当初の計画を上回る目標の下で順調に成果を重ねており、今後も十分な成果が期待できる。
- 最終的にどの程度の低消費電力を実現できるのか、大変楽しみにしている。
- 技術の継承, という観点から, 論文としての成果発表を是非検討して頂きたい。
- 外部発表も多く、研究は順調に遂行されている。これまでの実績や経験をもとにして、極めて  
良好な研究協力関係を築いている。最終年度での成果達成にむけた妥当な実施計画をたて  
ている。

## (1) 当該年度における研究開発の目標達成(見込み)状況

(5～1の5段階評価) : 評価5(評価点)

### (総論)

計画通りの成果が得られ、非常に進歩的な成果等が得られている。

### (コメント)

- 伝送可能距離を2000km程度に上方修正するとともに、国際会議発表、国際標準化活動を通じて国際競争力の強化に努めており、計画通りの成果が得られている。
- 拡張した目標伝送距離2,000kmに対する要素技術の機能動作を確認できている点は極めて高く評価できる。
- 研究発表も予定通り順調に数多く行われており、研究自体も順調に遂行されている。

## (2) 当該年度における研究資金使用状況

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

### (総論)

予算計画書あるいは適切な理由に基づく支出変更理由に則り、有効、効率的かつ適正な執行が行われている。

### (コメント)

- 研究費は、ほぼ当初の予算計画通り執行されている。

## (3) 研究開発実施計画

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

### (総論)

実行可能であり有効かつ効率的な計画である。さらに、工程管理などの面で優れた取り組みが認められる。

### (コメント)

- 動作検証・性能検証、課題間連携を含めて、実行可能な計画になっている。
- 最終年度での成果達成にむけ、実施計画は過去の研究開発達成状況を踏まえて立案された妥当な内容となっている。

#### (4) 予算計画

(5～1の5段階評価) : 評価4(評価点)

(総論)

有効かつ効率的な予算計画が組まれており、積算額も妥当である。

(コメント)

- 有効かつ効率的な予算計画が組まれており、積算額も含めて妥当である。

#### (5) 実施体制

(5～1の5段階評価) : 評価5(評価点)

(総論)

適切な実施体制が組まれており、計画通りの事業進捗が見込まれる。さらに、工夫が認められ、合理化・効率化等が図られていると認められる。

(コメント)

- オープン・イノベーション方式による成果が期待できる適切な実施体制になっている。
- 人事異動や担当業務変更のため、実施責任者と研究開発メンバが若干入れ替わっているが、問題ない。
- これまでの実績や経験をもとにして、極めて良好な研究協力関係を築いている。